

「2017函館マラソン」準備状況（第二弾）

～ はじめに ～

函館マラソン事務局です。

さて、昨年からフル・ハーフ同時開催のスタイルで実施している「函館マラソン」ですが、その準備状況や反省することしきりの開催状況などについて、これまで

- ・昨年4月から6月末まで：2016函館マラソン準備状況
- ・昨年8月から10月上旬まで：2016函館マラソン開催状況
- ・昨年11月から本年1月中旬まで：2017函館マラソン準備状況

というフレームで、都合3部にわたり各20回、せっせと書き込んでまいりました。

この反響として、コアなファン？の方からメールやお電話で、あるいは直接ご訪問をいただいたりして「今回の内容、よかったわ」などと激励のお言葉を頂戴する場面も多く、書き手の方としては、正直、かなり喜んでいるのであります。

しかしながら長く書き込んできた「2017函館マラソン準備状況」が、この1月18日に結びを迎えたこともあって、ここで筆を置き、今後は17大会開催に向けて脇目もふらずにぐりぐりと諸準備を進めていくぞ！と、決意も新たに昨今は取り組んでいたのですが…ただ、実は少々困ったことがありまして。

日々、準備を進めている中で、本当に多くの方々との密なコミュニケーションが展開されていくわけですが…そうした過程で（不思議なことに）、げに楽しくもダイナミックな「ネタ」が私の手元に続々と降ってまいります。これには大いに触発されてしまいます。「ネタ」を拡散したい、即ち「書きたい」という欲求が湧いてくるのです。

ということで…割とあっさりともた筆を執りますね。それによくよく考えると、皆様にお伝えしなければならないことはまだ沢山ありまして、例えば…気になる「参加記念品」のことなど。新たな取り組みとしてフェイスブックも始めましたので、折角ですからこの場とフェイスブックを連動させながら皆様への情報発信の充実に努めてまいります。

何れにせよ…筆致はいつもながらの冗長スタイルが変わるべくもない有様ですが、ランナーの皆様におかれましてはマラソンシーズン真っ只中のこの時期から、シーズンも終盤を迎える初夏の「2017函館マラソン」開催のその日まで、引き続き日頃の練習の「脚休め」の場としてこの場を楽しみいただきたく、よろしく願いいたします。

通算第4部目となる「2017函館マラソン準備状況（第二弾）」、スタートです！

～第1回 エントリーはじまりますよ！（バレンタインデーの直前からです）～

既に皆様ご承知のこととは存じますが…バレンタインデーの3時間前、2月13日の午後9時から函館マラソンのエントリーがはじまります！よろしく願いいたします。

また、エントリー開始のお知らせも含め絶賛展開中のフェイスブックキャンペーンですが、本当に多くの方からご応募を賜り、そしてあたたかいメッセージを頂戴しております。我ら関係者一同、アツいものをひしひしと感じております。勢い準備の方にも力がいってまいります！

さて。

昨年大会は、あのサロマ、かの有名な「サロマ湖 100km ウルトマラソン」と開催日が重なってしまいましたが、（正直に申し上げて）実行委員会内での「サロマのお客さんはサロマに行くわね。だってあの有名なサロマだものうんうん」、「仮に1週間日程を変えても100キロ走って次の週にフルは走れないわね」といった議論？や、函館マラソンのスタート・フィニッシュ地点となる千代台公園の利用調整などを踏まえたうえで、6月末の、暴風吹きすさぶ「あの日」をわざわざピンポイントで選択したのでありました（涙）。

17大会は、先の「17大会準備状況」（※第1弾）の第4回「（発表済みですが…）開催日程について」にて開催日決定に至る経過をお知らせしておりましたとおり、高校野球地区予選との日程調整などを経て7月2日に決定、即ちサロマの1週間後です。

「でもまあサロマの1週間後になったからって、サロマの参加者はウチには来ないよ」、「そんな超人、いるわけないっしょ、ふふ」

それが…世の中には超人って居るんですね。

FBキャンペーンコメント：「サロマ明けになりますが、楽しんで走りたいと思います」。くだもの社長：「オレのともだち、サロマと重なってない！よかった～って言ってるよ」。準備状況ご愛読者様：「サロマと被らないとなると申し込みが大変になりそうだなあ」。

…ということで皆様、繰り返しになりますが、

2月13日（月）午後9時 エントリー開始です！

～ 第2回 参加記念品は？ ～

参加記念品…皆さん気になりますね。でもまあここをご覧のあなた様が気になる以上の勢いで、我々、ずっとそのことを気にしているのであります。

皆さんに喜んでいただける品物を選択したい。「ランネット」のアンケート（※大会レポート）を見ると、昨年のリュックとキャップについては「工夫を感じる参加賞」の項目で95ポイントという高評価をいただいておりますので、あまり変なことはできません。それに色々なことがあったにせよ16大会の総合評価が低いレベルにとどまっている我が函館マラソン。点数を貪欲に「取りに行く」というガッツも必要です。

当然のこととして参加記念品の充実には多くの費用が必要ですが、その辺はバランス感覚を研ぎ澄ませ、支出の精査と重点項目への集中投資、即ち「それ欲しい～！」と多くの方に言っていただけるような品を少し無理してでも選びたいと考えています。

で、逡巡して辿り着いたのが「BUFF」。手にとってみるとこれ、使い勝手いいですね。色んなパターンで着用できるし。でもネットで調べると…結構いいお値段です。



それにこの品、少なくとも世のおじさん代表を自負する私は、サンプルを手にするまで存在すら知りませんでした。「これ、なに？」、「BUFFって何て読むの？」、「アクセントは前後どちらに付くの？ バフ？ バフツ？ バアフウ？ …??？」

このように、私にとっては一般化されていない存在でしたが、それが如何に良いものであるのかということを教えてくれたのが、自転車乗りの私の同級生たち。

「おまえBUFFって知ってるか」→「おう。あれ、いいんだわ」

「ホントか、知ったかぶりだろ？」→「なんもだスペインのアレだろ、でも高いよ」

→「なに、マラソンの記念品？たのむ…くれ！」

「ダメだ、マラソンに出ろ！ふふ」←

ま、何れにしてもデザインが重要ですよ。その辺も含めオフィシャルスポンサーのミズノさんと相談してまいります。それと、今年も記念品は2品に？（BUFF+αの意。ミズノさん頑張ってます！詳しくはFBの方もご覧ください）

～ 第3回 (緊急報告) エントリー状況について ～

昨年の今頃のこと。我々スタッフの心の中には常に強迫観念的なものが宿ってましたね。何がって？ズバリ定員に達するの否かの1点についてです。フルマラソンとしては新参加者ですからPRには全力尽くしましたが、なにせハーフ時代と比べて定員が単純に倍増するわけですから気が気じゃありません。

その昨年大会、結果的には47全ての都道府県からエントリーをいただき、フルは定員到達、ハーフも最終的には97%に達したのであります。実績もないマラソンを支えていただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。

で、1回の開催実績を経て2回目を迎える今年は、そうした呪縛から解放されたのか？

函館マラソンに関係する多くの方が、この定員到達について語るとき、「もう2年目だものすぐ埋まるわ」などと太鼓判を押されるのですが、少なくとも私は、かなりの勢いで心配しておりました。何故ならば、

- ・ 昨年は北海道新幹線開業の「追い風」が吹いていた
→ 今年もその風は吹いているが、ピークは越した
- ・ 昨年大会はフルマラソンとしては「初」開催。皆、初モノ好き
→ ご祝儀相場は過ぎた

という背景的な問題があること。加えて昨年大会は、上記のとおり新幹線開業という「追い風」を受けておりましたが、当日は例え話ではなく本当に「強風」を受けてしまい、それに的確に対処できなかった我々の経験値不足も重なって…だから、かなりの勢いで心配していたのであります。

このような状況を踏まえ、では今年はどうのような感じなのか？エントリー1日目(14日17時現在)の中間概要を以下のとおり纏めましたのでご覧ください。

・ フルマラソン	定員達成率	65%	
・ ハーフマラソン	定員達成率	40%	
・ 合計	定員達成率	53%	(対前年で95%!!)

…要するに順調です。初回の「追い風」を受けた昨年並みに推移しておりホッとしております(今年はハーフも定員に達する勢いです!)。皆様本当にありがとうございました。ただし…まだ間に合います!

ご案内: 宿泊施設の関係でご心配をおかけしております。函館マラソンの宿泊を斡旋しているJTB北海道函館支店からは、「今後、新たな施設の追加など宿泊情報を更新していく」との連絡を受けておりますので、同支店のサイトを逐次ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

～ 第4回 (2/16 午前 11:30 公開・緊急報告) 宿泊施設について ～

遠方からお越しの方にとって、宿泊施設の確保は重要です。このため函館マラソンの公式スポンサー・JTB北海道社様には、昨年引き続き本年もランナーの皆様の宿泊をサポートいただいております。

同社では、フル化2年目となる17大会は、昨年以上に宿泊需要が高まるものと想定し、その備えを「粛々と進めていた」とのことです。また、昨年は大会直前までやりくりで苦慮したものの「最終的にはご要望をいただいた方の宿泊予約は、ほぼお手伝いできた」とのことです。今大会も「昨年の宿泊率を踏まえ、昨年以上の予約に堪えられるよう対応している」とお聞きしておりました。

しかし…今年は昨年以上の宿泊要望があり、正直に申し上げて、同社の宿泊サイトを開放した直後から「想定以上のお申し込みをいただいた」とのことでありました。

この要因としては、

- ・ 昨年の大会は、3月14日の申し込み開始→6月26日大会開催（その間3か月）
- ・ 今年の大会は、2月13日の申し込み開始→7月2日大会開催（その間5か月）

この2か月の差により、「(まだ早いので) 予約解禁前」という施設が多く、結果、2月中旬のこの時期に、一般向けに予約がリリースされている施設が少ないことから、結果、当社サイトに集中したことなどが考えられる…とのことでありました。

このような状況に、同社は以下の通り対応します。

【宿泊予約サイトについて】 <https://amarys-jtb.jp/2017hakodatemarathon/>

- ①ツインのシングルユース転換 (2/15 掲載済)
- ②新規の宿泊情報を追加 (2/16 午後 1 時以降「順次」掲載予定)
- ③大部屋プランの追加 (現在、市内宿泊施設と交渉中)

お手数をおかけいたしますが、当社の函館マラソン宿泊予約webサイトを逐次ご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【電話でのご相談も承ります】 JTB北海道函館支店 電話番号 0138-56-1711

上記②の一環として、webサイトに掲示していない宿泊施設についても若干ながら、ご案内できるお宿があります (※2/16 午前 11 時現在)。詳しくは電話でお気軽にお問い合わせください。

皆様には大変ご面倒をおかけしておりますが、上記情報のご確認方、よろしくお願いいたします。

～ 第5回 「メロン王子」 ～

更新がおろそかになっておりますが、遊んでいるわけではありませんよ…ふふ。

さて、17大会準備状況の第18回、夕張メロン編で詳述していたとおり、我々、17大会の夕張メロンなどの協賛（無償提供）を逡巡する「くだもの社長」に対し、大阪マラソンの会場で初対面の氏に協賛の継続を促す奇跡の一言「くだもの社長さんですか？」を発した関西在住の方（以下単に「メロン王子」という。）を探しておりました。

「メロン王子」は、察するに「準備状況」などをくまなくご覧になっているのは明白であり、必ずや我々の問いかけに反応があるものと確信しておりました。そして「その日」はあっさりとやってきました。1月から始めた当マラソンのフェイスブック、そこに投稿したメロン関連記事に、1月15日（日）の早朝、次のコメントが付いたのです。

＞第18回記事 楽しく拝読しました。大阪マラソンでフルーツ社長さんに声をおかけしたのは僕です。前回大会ではタイムを狙っていましたが、フードは全く摂らずに走りました。今年の大会は完食を目指します。

…押せるものなら「いいね」を100回押しそうな勢いで喜んだ私、すぐさまコメントを返そうと思いましたが…場の運営ポリシーを「※FB コメントやメッセージには返信をいたしませんのでご了承ください」と熟慮のうえ定めた以上、軽々に返信はできません。そこで苦肉の策として「メロン王子」にメッセージでお礼を申し上げます…

＞返信ありがとうございます。前回大会前に大会HPのブログをととても楽しく読ませていただきました。いかにおもてなしをするか、いかに費用をかけずに函館を満喫してもらうかを巧みな文章でまとめられており、大会には参加しない家内にプリントアウトして読ませました。ブログの中で取り分け印象に残ったのは豪気にも高価な夕張メロンを提供されたフルーツ社長の逸話とイラストでした。

＞函館マラソンから4ヶ月後の大阪マラソンの朝のこと。荷物を預け終わってスタートラインに向かって歩いている時、前からイラストそのままのランナーさんが歩いて来られた時には思わずビックリして足が止まりました。もちろん迷うことなく声をかけて、おはなしをさせていただきました。まさかこの時の僕の行動が次回の大会へのフルーツ提供を決定付けたとは驚きです。

＞函館マラソンのコースは正直アップダウンが多くて、キツイコースでしたが沿道からの熱い声援とおもてなしの溢れた大会でした。もちろん今年も参加します。大会準備何かと大変ですが楽しみにしております。大成功を祈っております。

という返信を「メロン王子」からすぐさま頂戴し（あわせてメッセージの引用についてもご許可をいただきました）、飛び上がりましたね物理的に。

ただ「メロン王子」、いや川端さん！このようなやりとりを通じて私、何かしらずっと違和感を覚えておりました。何かが違う…何だろう。

あ、「フルーツ社長」じゃなくて「くだもの社長」ですから！（←ココ重要）

～ 第6回 なるか？函マラバージョン「丸缶羊かん」土産商品化（中間報告） ～

昨年3月のこと。アンケートなどを通じて「羊かん」は必ずやランナーに喜ばれるフードになると確信した我々は、羊かんといえば道南は江差町の五勝手屋本舗さんだわねと、同社への無謀な直接アタックを敢行したのであります…「羊かんください」と。

ただ、我々の「工作」目標は、同社が誇る「丸缶ようかん」のスライス4千個をご提供いただくこと…この辺はバックナンバー（16準備 第11回、16開催 第10）を再読いただければと思いますが…要するに「食べる・食べない」の歩掛かりを5割と設定し、パクっとひとクチサイズの羊羹を4千個用意できれば、まずは希望するランナー全員に提供できると考えたのでありますが…これまでの同社との打ち合わせ状況を時系列でお知らせいたしますと、

（16年3月 羊かん専務）

- ・羊かんを4千個に切り分けるのって大変でして…
- ・だから4千個、切らない版（※1本まるごとの意）で提供しますがどうでしょう？
- ・それじゃ4千本になる？協賛が百万円近い？…そうですけど何か？

（16年5月 羊かん専務）

- ・折角だから函館マラソンポスター柄の特製パッケージ版で提供しますね

（16年6月 ※大会直前 羊かん専務）

- ・「1本じゃ多すぎる」という方が居そうだから追加で「通好み（※丸缶の上のシャリシャリした部分をカットした商品）」を2枚×4千名分用意しますね
- ・社員6名体制で第7エイドを手伝いたいのですが、よろしいですか？

（16年7月 ※大会後 社長）

- ・来年も協賛は惜しまないつもりですよ
- ・何？ポスターにロゴが載るぐらいの協賛内容だったから来年はロゴスポンサーに？だめだめ江差の我々が出過ぎたまねはしたくないから。新聞とかで色々と宣伝してもらったし、本当にそれで十分。感謝してますよ

（※新情報：17年2月 羊かん専務）

- ・ランナーの評判良かった？「おいしい」、「生き返った」って？嬉しいですね
- ・え？エイドで配った函マラバージョンの「丸缶羊かん」を土産にとって声が多い？それ社長がダメって言うと思います。販売しちゃうと営利目的みたくなるから
- ・我々は純粹に函館マラソンのお手伝いをしたいだけ。おもてなしの気持ちで勝手にやっただけですから。だから販売はダメです
- ・それはともかく今年は何をやるのかな？何かもっと新しいことがやりたいんですけど…何をやればランナーの方々、喜んでくれますかね？

ということで我々も、そして多くのランナーの皆様も望む函マラバージョン「丸缶羊かん」の土産商品化ですが…現状、難航しております。引き続き頑張ります！

～ 第7回 3月10日（金）正午 300室分の宿泊情報を追加
／宿泊施設不足に関するお詫びと状況報告 ～

函館マラソンの開催まであと4か月を切るところとなりました。

宿泊施設の予約確保が難しい状況が続いており、皆様には大変ご心配をおかけしておりますが、明日（3月10日）正午より、函館マラソン公式スポンサー・JTB北海道社が運営する函館マラソン宿泊サイトや同函館支店への直接のお電話などを通じて、

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">①宿泊サイト上でシングル・ツインルームなどを中心に約200室の情報追加②同支店への直接電話（0138-56-1711）にてご紹介できる情報を約100件追加③東京発着の函館マラソンツアー販売開始 |
|--|

という3つの情報を、皆様にお伝えできる運びとなりました。

このたびの宿泊施設不足の現象は、函館マラソンの公式 Facebook をはじめ、ツイッターなどでも数多くの発言を頂戴するに至りました。そして多くの皆様に悲しい気持ちにさせてしまいました。

また、実現象としてランネットの入金期限を越えてキャンセルとなった方の人数は、当初の1週間分だけでも300名を超えました。これは、楽しみにしていた函館マラソンをやむなく放棄せざるを得なかったという方を、数百名規模で産みだし続けているということに他なりません。

本当に申し訳ありませんでした。

このような中、本日（3月9日）段階の2017函館マラソンのエントリーは、8千名の定員に対し、7千名を超えるところとなりました。心よりの感謝を申し上げます。

しかしながらマラソン大会の開催には、スポンサー各社様からの協賛金と、行政からの補助金、そして皆様から頂戴するエントリー費の3つを「確保」する必要があります。

このため実行委員会といたしましては、今後、お一方でも多くのご参加をいただきながら、残すところの900余名エントリー枠の確保、即ち「定員達成」を目指してまいりますので、エントリーを躊躇されている方や、そのような方をご存知の方で既にエントリー済みの方におかれましては、このたびの宿泊情報の追加などを契機に、ぜひとも函館マラソンへのご参加を賜りますよう、皆様どうぞお誘い合わせのうえ（※くどいですがね…でも必死なものですから…）、何卒よろしく願いいたします。

■宿泊等連絡先 JTB北海道函館支店 電話 0138-56-1711（平日 9:30-17:30）

・函館マラソン宿泊サイト：<https://amarys-jtb.jp/2017hakodatemarathon/>

～ 第8回 函館ならではの「新」フード決定！ ～

折しも3月14日のホワイトデーのお昼過ぎに起こったこと。何故か仕事中の私の脳内に「ホワイトデーならホワイトチョコよ」というささやきが聞こえてきたのです。

そうだよホワイトチョコだよなうんうん…あれ、オレ何いってんだろ？それにクッキーだよね？…でもマラソンでチョコを出せば栄養補給になっていいよね。あれ？そういえば湯の川の修道院にホワイトチョコなかったっけ？（ネットで調べると）…ある！

あれ、これ食べたことある！「おいしい」の記憶があるもの。でもいつ食べたんだっけ？ああ、観光部局に居た頃だから10年前か…そう思った瞬間、「私たちは函館市民。だから市民として函館のためになることを何かしたい」という修道院長から当時いただいたお言葉が、なぜかしら蘇ってきた。短絡的な私は、これは何かのお告げではないかと感じ、すぐさま第4エイド(湯の川)での新フード提供構想をまとめ修道院に電話した。

応答いただいたのは当時お世話になったシスター。今、自分はマラソンを担当していること、函館を疾走するランナーに函館らしい補給食を提供したいこと、そこで思いついたのが修道院のホワイトチョコであること、だから少し話をきいて欲しい…と。

シスターは「懐かしいですね」、「なるほどホワイトチョコ…どうぞお越してください」と。

そしてすぐに修道院長と件のシスターとの面会が叶った。私がお願いしたのは次の2点。

- 1 1枚15ピースに分割できる修道院のホワイトチョコを400枚、マラソン用に（若干お安くしていただいて…）販売いただけないか？
- 2 チョコを配る場所の裏手から、ランナーに微笑みと祝福をいただけないか？

修道院長からのお答えは…「囲いの中で生活する私たちの仕事は人々と一緒に修道院の囲いの中に留まることです。ですからコースの脇に出向くことはできません」、「でも囲いの中でしかできないことがあります。それは祈ること」、「チョコレートは全て『提供』させていただきます。そしてその一枚一粒毎に皆さんへの祈りを込めて作らせていただきます」、「全国からお集まりいただく皆さんが、事故なく無事に思いを遂げられるよう、マラソン開催日の7月2日にはマラソンの成功のためにミサを捧げ、ランナーの皆様には神様からの祝福と恵みを願いましょうね。」（※私、涙目）

また、「修道院にお越し頂けますと、神様の祝福とマリア様のご保護の恵みがありますよ。走る前でも、走った後でも、是非お立ち寄りください。お待ちしております。」というお言葉も頂戴しております。皆様ぜひ！



トラピスチヌ
ホワイト ミルク チョコレート